

姫川で見られる動物（動物図鑑）

種名 イモリ



背側は黒色で、お腹には、黒いまだら模様があります。各地の、ゆるやかな小川や沼にすんでいて、ミミズ、昆虫、オタマジャクシを捕まえて食べます。中山橋や、根知川が合流するあたりの左岸側で見つかりました。河川敷の水たまりでも見られますが、おもに、まわりの池や水田にすんでいます。

種名 モリアオガエル



シュレーゲルアオガエルよりやや大きく、目のまわりは赤っぽい色です。山地に多く、4～7月に、木の枝や草の上に、あわ状の卵のうを産みます。虫川が合流するあたりで、見つかりました。河川敷で見られることもありますが、おもに、川にちかい山地や、そのまわりの水田にすんでいます。

種名 トノサマガエル（シマガエル）



背側は緑色か灰色で、まだらの模様をもつものが多く、背中に白色のたて線があります。卵は水田に産みます。春になると、ガアル、ガアル、グルルル・・と鳴きます。中山橋や、根知川が合流するあたりで、見つかりました。河川敷でも、見つけることができますが、おもに、川のまわりの水田にすんでいます。

種名 カナヘビ（カナチョロ）



体は褐色で、細長い尾をもっており、敵におそわれると、しっぽを切って逃げます。もっともよく見られるトカゲで、草地や数にあり、草や木、石をかくれ場所にしています。姫川の全地域で、見つかりました。おもに、草地にすんでいて、繁殖もしています。草むらの石の下で、1 cm くらいの卵を見つけることができます。

種名 シュレーゲルアオガエル



モリアオガエルより小さく、目のまわりは金色をしています。水田のまわりや、湿ったところで見られます。4～5月に、水田や池の岸に、あわ状の卵のう（卵がたくさん入ったかたまり）を産みます。今井橋や、根知川が合流するあたりで、見つかりました。河川敷でも見られますが、おもに、川のまわりの水田にすんでいます。

種名 シマヘビ（ナメラ）



体は褐色で、黒色のたてじまが目立ちます。カエルやトカゲから、小鳥や小さなほ乳類まで、いろんな動物を捕まえて食べます。水田や草原、森林にすんでいます。姫川の全地域にすんでいますが、虫川が合流するあたりの、古くから草や木が残っているところに、よく見られます。石積みの堤防では、日光浴をしている姿や、ぬけがらがよく見られます。